

浜松市水防団の活動報告と今後について

1 最近の気象状況

近年、気候変動により雨の降り方が年々激しさを増し、全国各地で甚大な被害をもたらしている。図1、2は日降水量100mm以上の年間日数を表したものであり、発生日数（緑）、変化傾向（赤）、移動平均値（青）を示している。この2つの図の変化傾向（赤）は増加傾向を示しており、浜松市をはじめ全国で日降水量100mmを超える日の発生が年々増加している状況である。

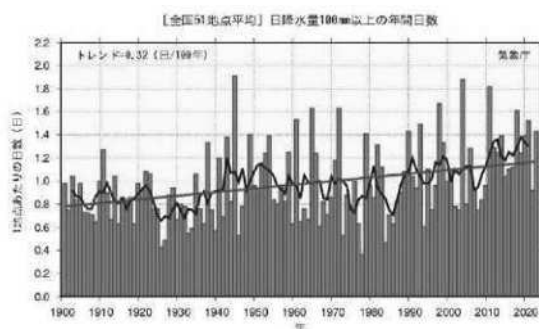


図1：（全国51地点平均）日降水量100mm以上の年間日数

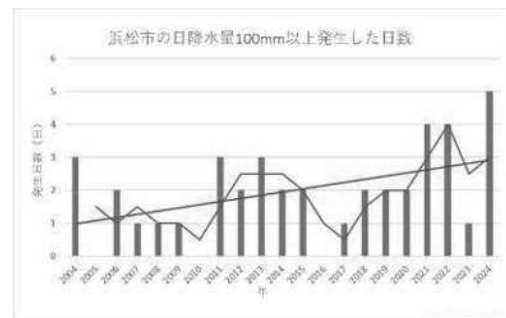


図2：（浜松市）日降水量100mm以上の年間日数

* 気象庁資料参考

2 今年度の水防団活動

令和6年度は、水防団が出動した異常気象は3回発生した。特に8月下旬の台風第10号は接近前から激しい雨が継続し、都田観測所で8月22日から9月1日までの11日間に累積雨量958ミリメートルを記録した。

この期間中、述べ91人の水防団員が出動し河川巡視を行った。

令和6年度出動日	日降水量（浜松観測所）	工法等	出動述べ人数	備考
6月28日	88mm	河川巡視	21人	
8月26日～31日	199mm	河川巡視	91人	降水量は8/26
10月5日	75mm	河川巡視	26人	

3 今後の取り組み

年々、頻発する豪雨に伴い水防団の活動の機会も増加し、重要性もより高まっている。

水防団活動を安全かつ円滑に行うため、今年度より永年の懸案であった待機場所のない水防施設（7か所）の改築に取り掛かり、今後は計画的に水防施設の整備及び資機材の充実を図っていく。

台風10号による水防団出動状況

[illegible]